

西条弁最高?再考 「はなさかじいさん」を 西条弁で語つてみると…

おはようございました。今回は「西条弁」でしてみたがね。新居浜とはちょっと違うんかいねー。ほんでも新居浜の人も分かる思うけん、読んでみてんや。



とーの むかし じゃけんど
むかしむかしのこと、

人のええ おじいはんと おばあはんが 住んどったんよ。
優しいおじいさんとおばあさんが住んでいました。

ふたーりには 子どもが おらんかったんで
二人には子どもがいなかったので

シロちゅう 犬を 大事に しょったわい。
シロという犬をとても可愛がっていました。

ある日 シロが 畑でほえよんよ。
ある日、シロが畑でほえました。

「ここ おがさんかい ワンワン!!」
「ここ掘れ ワンワン!!」

「おがせ 言よるけんど どこぞいの? ここかいの?」
「ここを掘れと言っているけど どこだろう? ここかな」

おじいはんが ちびとる くわで おがしたら
おじいさんが、先がすり切れた鍬(くわ)で掘ってみると
土ん中から 大判小判が ぎょうさん 出てきたんよ。
土の中から大判小判がたくさん出てきました。

たまがすがね。

驚きですね。

それ見よった ねきの **こすい** おじいはんが
その様子を見ていた、となりの欲張りじいさんが

「かいがいに 掘らんかあ。シロ 貸してくれや」
「(あなたと)交替しながら掘りませんか? シロを貸してください」

こすい おじいはんは シロを 無理矢理こ
欲張りじいさんは、シロを無理矢理

わがんとこの 畑に 連れて行ってしもうた。
自分の畑に連れて行きました。

シロは **こすい** おじいはんの **きざかいが** 嫌じゃけん
シロは、欲張りじいさんが気に障るようなことをするので 嫌になり

キャンキャン ゆーて ないたんじゃけど

キャンキャンとなっていましたが、

こすい おじいはんは「ここ おがしたらえんか?」ゆうて
欲張りじいさんが「ここを掘ればいいのか?」と言って

じゅるい 畑を あずって ほじくりかえしたら 見てみー
ぬかるんだ畑を苦労しながら掘り起こしてみると、そりやそうだろう…
いなげな 化けもんが よーけ でてきたわね。
気味の悪い化け物がたくさん出てきました。

「おどれ なんしよんぞお!」

「お前、なんて事をするのだ!」

こすい おじいはんは 怒ってしもて
欲張りじいさんは、怒り心頭となり

シロを がいに くらすわ けつるわ して

シロを強く殴ったり、蹴ったりして

とうとう 殺してしもーたかい。
ついに殺してしまいました。

人のええ おじいはんは よいよー つらがって
優しいおじいさんは、大変悲しんで

こまい 棒を 立てて お墓を 作ったんよ。
小さな棒を立てて、お墓を作つてあげました。

ほんで 次の日 おじいはんと おばあはんが
そして次の日、おじいさんとおばあさんが

シロのお墓に行つたらの一
シロのお墓に行ってみると、

こまかった 棒が 大きい木いに なつとるがね。
小さな棒が大きな木になつてありました。

おじいはんと おばあはんは
おじいさんとおばあさんは

その木で 日(うす)を作つて もちを ついたんよ。
その木で日(うす)を作つて、おもちをつきました

ほんなら 不思議なのー。

そうすると、不思議なことが起ります。

もちろん中から 宝もんが でてきたけん たまげらい。
おもちの中から宝物が出て來たので、びっくり仰天です。

それを みよった こすい おじいはんは
それを見ていた欲張りじいさんは

まあ しょーねが 意地くそ悪いん
性格がとても悪いので

「よい わしに 日を 貸さんけや!」
「おい、わしに日を貸せ!」

ゆーて 今度は 日を 持つていったがね。
と言って、今度は日を持っていました。

こすい おじいはんも もちを ついたけんど
欲張りじいさんも、もちをついたものの、

出てきたんは まくったら ええような クズだけじゃ。
出てくるのは 捨てもいいようなゴミクズばかりでした。

「なんでや この日は! 三銭じゃが!!」
「なんだ、この日は! とんでもない(日だ)!!」

どくれた こすい おじいはんは 日をオノで割つて
機嫌を損ねた欲張りじいさんは、日をオノで割ると

たきもんに くべてしまたかい。
たきぎにして、火に焼いてしました。

日を焼かれてしもた 人のええ おじいはんは
日を焼かれた優しいおじいさんは

その灰を じょうれんで すぐうて 持つて帰りよつたら
その灰を竹の塵取りザルですぐって持ち帰ろうとしたら

灰 かやしてしもて ほんで 風で飛ばされたけん
灰をこぼしてしまい、そして(灰が)風で飛ばされ

枯れ木に 灰が かかってしもたんよ。
枯れ木に灰がかかつてしましました。

すると どーぞい。
するとどうでしょう。

枯れ木が さらになって 花咲いたけん たまげるがね。
枯れ木が新しくなって、花が咲いたのでびっくりです。

おじいはんは うれしゅーなつて
おじいさんは、うれしくなって、

「枯れとる 木いに 花 咲かせよわい!!」 ゆーて
「枯れ木に花を咲かせましょう!!」

ぱあーと 次から次に 灰まいたら
ぱあーと次々に灰をまくと

木い 枯れとんのに 花が よーけ 咲くがね。
木は枯れているのに、花がたくさん咲いていきます。

【本文内 赤文字 の解説】

ほしたら たまたま そこへ 殿さんが 通つての一
すると ちょうどそこへ、お殿様が通りかかりました。

「こりゃ すごいの一」
「これは見事じゃ」

殿さんは「えーもん 見せてもらた」 ゆーて
お殿様はたいそう喜んで

おじいはんに ほうびを あげたらしいわい。
おじいさんに褒美をあげたということです。

ほれ見よった こすい おじいはんが またじゃ。
それを見ていた欲張りじいさんに対し(第三者が)「また言っている…」

「よい わしも 花を 咲かせて ほうびを もらうけん
「おい、わしも花を咲かせて 褒美をもらうから

灰を わしに かさんかい!
その灰を、わしに貸せ!」

こすい おじいはんが 殿さんの前で
欲張りじいさんはお殿様の前で

灰を まいたんじゃけんど 花やか 咲かんがね。
灰を撒いたけれども、花なんか咲きません。

ほんで 殿さんは 灰もぶれで わやになつたけん
そして、お殿様は(体中)灰だらけになって、どうにもならない姿になり、

見よつた人らも「どーならい」 言よつたわね。
見てた(回りの)人たちも「かわいそうだ」と言つてました。

こすい おじいはんは
欲張りじいさんは

殿さんから よいよー おんかれたつちゅーわい。
お殿様から大変怒られたと言うことです。

ふうが悪い 話じゃろー。
みっともない話ですね。

人のええ おじいはんは あますぐらい ほうび もろたけど
優しいおじいさんは、たくさんの褒美をもらつたけれども、

昔と ついなよーに おばあはんと ふたーりで
以前と変わらず、おばあさんと二人で

贅沢もせんと 暮らしたちゅうがね。
贅沢もせずに、くらしたそうです。

ほんでも「しょー 幸せじゃ」 言よつたけん。
それでも「とても幸せだ」と、言つてました。

みんなも へらこい ことは せられんよ。
みんなも、するいことをしてはいけませんよ。

おがさんかい	おがさんかい=おがしなさい。おがす。ひっこ抜く、大きな石を動かし、下の地面を露出させる。「掘る」場合も意味が近いので、使用してみました。
たまがすがね	たまがす = びっくりさせる。 たまがすがね = びっくりさせられるよ。
こすい	「悪賢い」「するい」「卑怯」「欲が深い」等の意味。 今回は欲張りじいさんに当ててみました。
きざかい	「嫌がらせ」「不愉快なこと」「気に入らないこと」。 また、そのまま。【気逆ひ】で辞書にも出てるとか。
じゅるい	「ぬかるみ」「雨で、その場所の水分が多い様」。雨上がりのコンディションの悪いグラウンドは「じゅるいグラウンド」となる。
まくったら	「まくる」で、ゴミやいらないものを捨てるの意味。 まくったらええような=捨ててもいいような
三銭	「価値がない」「使えない」など。「あいつは飲んだら三銭じや」と、酒に酔うと、どうしようもなくなる男性に向けて言う場合もある。
じょうれん	竹製の平坦なバスケット形状の農具。落ち葉掃除などにも使用。 最近ではプラスチック製が多い。  じょうれん
またじゃ	「まだだ」。ここでの意味は、何度も都合のいいことを言う欲張りじいさんに対し、第三者が客観視して「またあんなことを言つてはいる…」的に使用。
もぶれ	「まみれ」。ここでは「灰まみれ」、「灰をかぶつた様子」
どーならい	「どうしようもないね」の意味。ここでは「あ~あ」と感嘆符のような意味合いも兼ねて使用。
ふうが悪い	「体裁が悪い」「格好悪い」。「ふが悪い」とも。
しょー	「とても」の意味。主に氷見・小松地区で使用。

※ストーリーは編集部で一部脚色しております。

ニュアンスや発音等は、地域、性別、年代などで異なります。
また地域、性別、年代などで使う言葉、使わない言葉もございます。ひとくくりに「西条弁」とするのは大変おこがましいのですが、何卒ご了承ください。

過去に掲載のバックナンバーは編集部にお越し頂ければ、無料でお渡しできます。
また、PDF版をダウンロードできます。 <http://www.hoo-ja.com/>